

令和6年度 学校運営協議会 記録

令和6年(2024年)6月28日

・市教委より 浅尾先生

1. 学校運営協議会委員の委嘱について

・委員紹介

西尾さん 青少年指導員、推進員として関わって 50周年でもちまき、マジックショーを行うことができた
今年も子どもたちの経験になることができればと考えている

横山さん 主任児童委員 昨年度遠足についていった 学校の様子が少しわかった
ほかにも力になれることがあればと話している

北井さん 遠足付き添いに参加 参観にも参加して 子どもたちの様子も見られた
何かあればと思っているが 声がかかればさせていただくという形で

藤井教頭

坂根

丸山さん 昨年 PTA 会長として50周年行事に携われた
引き続き学校運営協議員として子どもたちのために何かできればと考えている

松浦さん 子どもが二人とも二小から南中でお世話になった 少しでも力になればと考えている

・学校運営協議会について

忌憚のない意見を聞きながら 学校運営の改善や児童の健全育成につなげたい

2. 会長及び副会長の選出について

会長に松浦さん

副会長に丸山さん

事務局長 西尾さん

次長 教頭

3. 本年度の学校経営について

・例年を踏襲した教育基本方針

今年度 市が目指す人材→グローバル人材を入れている

グローバル→グローバル+ローカル

狭山を愛する子をめざす

大阪狭山市としても 英語と地域を愛する心の育成を目指している

基礎基本の定着 → まるぐランドの導入（低学年）

児童の認知特性に合わせた問題が出題される

自分の得意なところ不得意なところが分かる

一人一台端末を活用した「個別最適な学び」と「共同的な学び」のある授業づくり

どの子も活躍する場面を設定 理由や根拠をもって自分の意見を表現できることをめざす

→子どもが主役の授業づくり

BASE in OSAKA

中学校から英語教員が来ている 中学校を見据えた英語授業

SNS等インターネット上の差別やいじめ等に留意する こどもたちは連続している 子どもの理解を進めるために学校以外の把握も進める 一方で働き方改革もある 意識を持つこと

教育課程特例校 生活 総合を10時間程度 地域学習を実施する

気になる児童については日頃から保護者の信頼関係を構築するよう努める

コミュニティスクールとはなんぞや コンセンサス

各校オリジナルでいいのか

委員会として「こうである」というものを出してほしい

→市としても答えを出しにくい 各校で事例を集めていきながらより良いコミュニティスクールをめざしていく 西尾さんとも協力しながら進めている

地域の方の意見をきいたり 保護者の意見を聞いたりしながら 力を借りながら進めていくのがコミュニティスクールかな

学校は閉鎖的なものではなくひらかれたもの

コミュニティスクールが確立されていない？

→いい事例もある

コミュニティスクール 市として方向性を持たないと 負担になるのではないか

地域とともに行ってきたものを割り当てているのが現状

これまで行ってきたことを整理してカリキュラムを組み立てていっている

浅 今年度から推進員が小学校全校配置 地域とどのようにつないでいくか

教育課程特例校 教員が意識しやすい → 負担にならないか

昨年から地域学習のカリキュラム

小学校6年間+中学校3年間の9年間を見据えていきたい

7年度に向けて

・児童の様子

施設分離型小中一貫校を進めている

4. 地域学校共同活動推進員の取組み

・まだ1年ちょっと 子どもに経験をしてほしい 経験が本では得られない学習になると思う
チェンブロックなど狭山にも世界に素晴らしい企業があると知ってほしい

大野はブドウが盛ん 手間暇がかかる ぶどうをつくるのに10回以上手をかけないといけない
朝4時から10時まで 3時4時からまた作業 6月 みが大きくなって 成長の手助けする
学校の地域の課題 文科省から降りてくる 焦点が 地域によって持っているものが違う
地域に合ったものにしていかないと続かない

ぶどう→イチゴ 事業継承された方 河内長野にいらっしゃる

夢をはぐくむのは小学校の間が良いと思う 自分のやりたいことが定まっていないと将来のことを考えるのは
難しい

中学校に行くまでにこんな仕事がしたいというものを感じ取れる機会を推進員としてやれればと思っている

まず子供に必要なのは経験 たきび キャンプファイア 田んぼに田植えに行った 農薬を使っていないので
ヒルがいる → 害虫がいるとことに素足で子どもに入れるのはどうしたものか?という保護者の声があった
ぬかるみの中でどうかを経験してほしかった

昨年8月ブドウの収穫終わって残っているものを 収穫させていただいた

10月11日 米の収穫 体育館でポン菓子を作りたい

コミュニティスクール 特技をお持ちの方たくさんいらっしゃる この人はどうかな?というのがあれば紹介
してほしい →子どもたちの経験につながればと思っている

その人たちを探しあてるのがコミュニティの趣旨かなと思っている

文章にするのは難しいが そういう人材を探してほしいのが コミュニティスクールの近道

5. 課題と提言

ぶどう 子どもが帰ってきて こどもの口から100年ぶどうって知ってる?

→子どもがぶどうに関して詳しくなっている 子どもの学びにつながっている

大野うまれのブドウもある

子どもの心に火が付けばと思う

粘り強さなど 他のことにもつながる

こども体験して 農業するわといった児童もいた

横 米作り、ブドウづくりに参加できればと思っている

北 初めて知ること多い 西尾さんがほぼほぼ段取りしてくれている
力になれることもある 活動を広げていければと

遠足 地域の人にも楽しみにしている → 秋に声かけをしようと考えている

6. 今後の予定

第2回 令和6年12月13日

第3回 令和7年 3月14日